

(4) デザインコードの検討

①これまでの流れと今後の展開

- ・昨年度はデザインコードの方向性を再認識するため、他都市3地区のまちなみ整備の事例（伝法院通り（台東区浅草）、大倉山（横浜市港北区）、谷中銀座商店街（台東区谷中））を参考にするとともに、デザインコード運用への機運を高めるために、実際の建物に仮設の袖看板や旗（バナー）を設置し、まちなみの変化を体感するための「まちなみ実験」を開催した。
- ・「まちなみ実験」により、ファサードの統一による環境の変化に対する一定の評価を得たところである。
- ・今年度は、より詳細かつ具体的なデザインコードの検討を行い、おしなりくんの家をモデルとしたファサード改修を実施し、来年度以降、商店街の方々により具体的に体感・評価して頂き、商店街全体としてのファサードの統一へと展開していく。

②「めざすところ」/押上・業平橋の商店街の位置付けとまちのイメージづくり

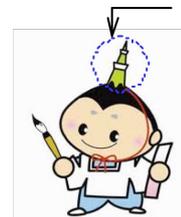
- ・浅草 → 歴史と伝統の残る下町（最近では伝法院通りの改修等）
- ・吾妻橋 → 下町（同じ形式の街灯等で統一感、連続感を出している）
- ・押上・業平 → 下町・スカイツリーのまち・おしなりくんのまち・・・等



歩いて行き来できる距離

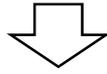
浅草から来る人にとっては終点となり、スカイツリーから浅草へ向かう人にとっては始点となる重要なポイント

日本古来の衣装を纏いつつ、最先端のスカイツリーを烏帽子に見立てて取り込んでいるおしなりくん、



③コンセプト

- ・下町らしさと新タワーが象徴する最先端のまちのイメージの融合



日本の伝統である町家のデザインコードを
新しい素材と手法で読み替え、伝統と新技術の融合を表現するまち

④具体的デザイン・素材・手法

〈店舗側〉

- ・庇・・・・・・・・・・・・・・・・テント/金属/ガラス/繊維強化プラスチック 等
- ・袖看板・・・・・・・・・・・・ガラス/金属 等
- ・簾／行灯（照明）・・・・メッシュシート 等

〈歩道側〉

- ・街灯／バナー・・・・・・・・・・・・タワー(おしなりくんの烏帽子)をデフォルメしたもの 等
- ・ストリートファニチャー・・・・・・・・通過するだけでなく、まちに留まってもらえる仕掛け
- ・商店街両端部の顔づくり（門など）・・・・浅草通り北端に商店街のはじまりを示す仕掛け

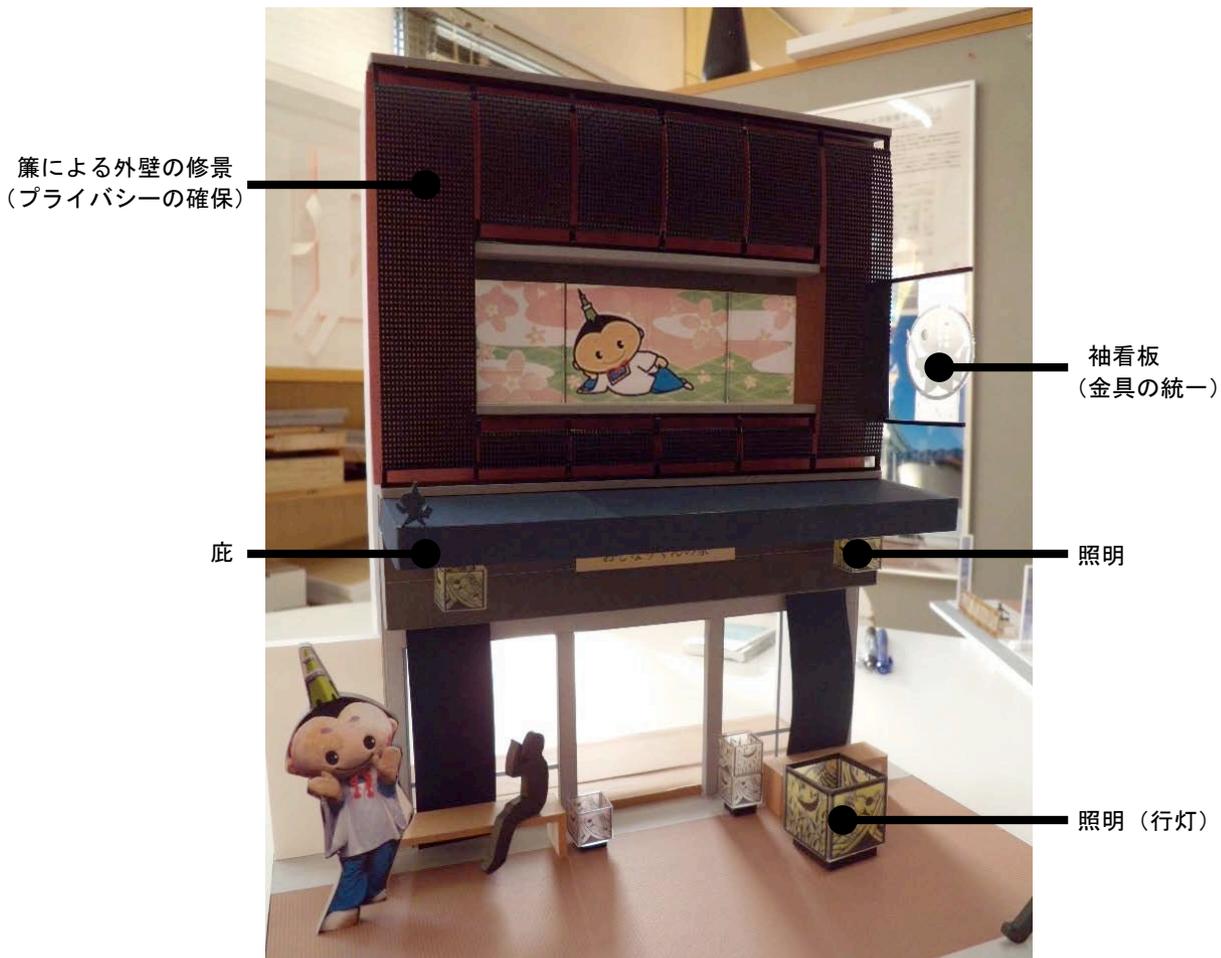


写真 具体的なデザインのイメージ



写真 同じデザインのパーツによる統一ではなく、まちなみを構成するパーツを整えることによる、ゆるやかな統一感を創出する



写真 ストリートファニチャーとのデザイン調和による統一感の演出



写真 簾の設置方法の違いによるまちなみの表情の変化